



## アレッサンドロ・トレベスキ

マントヴァ国立音楽院ピアノ科卒業。  
ブレーシャ大学政治経済学部卒業。  
パヴィーア大学国際経済学部卒業。  
フィレンツェ五月音楽祭劇場研修所コレペティコースで研鑽を積む。

今までに、多数オペラプロダクションにオペラ伴奏ピアニストとして関わる。  
ブレーシャ・グランデ劇場、ベルガモ・ドニゼッティ音楽祭、モデナ市立劇場、フィレンツェ・五月音楽祭歌劇場ではズービン・メータ、ミケーレ・マリオッティ、ジャンパオロ・ピサント、リッカルド・フリッツァ、フェデリーコ・マリア・サルデッリ、ヴァレリオ・ガッリなど著名な指揮者の下でオペラ伴奏ピアニストを務める。  
また、バルバラ・フリットリ、ルチアーナ・ディンティーノ、アンナ・ピロツィのマスタークラスでの伴奏を務め、コンサートではフランチェスコ・メーリ、リッカルド・ザネッラートなど著名な歌手と共演する。

2018年にはバイオリニストであり作曲家でもあるアントニオ・バッツィーニの生誕200年を記念して、椿姫やノルマなどの有名なオペラのメロディーを主題とし、彼がバイオリンとピアノのために書いた作品を全て収録した5作からなるアルバムCD “Complete Opera Transcription”をリリースする。

現在、ヴォーカルコーチ・コレペティとしてボローニャ歌劇場研修所で指導。  
ブレーシャ・グランデ劇場ではオペラ部門の劇術監督として勤務。  
また、ヴェローナ“Talent Music Master Courses”ではオフィシャルピアニストとして、ミラノ国立音楽院とヴェローナ国立音楽院では、伴奏ピアニストとして勤務。